

マーケティングコース

国際ビジネスコース

ファイナンスコース

社会の変化、顧客の変化を通して、ますます多様化しているマーケティングを業学的に学んでいくコースです。ここでは市場の創造や活性化をはかる学際的な学問であるマーケティングを、市場、生活・消費、社会に関する思想、理論、技法、実践を通して学び、基本原理の理解から学生独自の思考を身につけていきます。

グローバル化や高度化などの時代の変化に対応して進化を遂げつつあります。ビジネス、経済にかかわる専門的な知識を基に、マーケティング、流通、貿易、金融、ビジネス法務など多様な科目を総合的に体系的に学びます。また、実践への応用力を養い、激動する市場環境に対応できる判断力、問題解決能力を備えることを目的としています。

財・サービスではなく、資金そのものの取引について学ぶのがファイナンスコース。金融、証券、保険、国際金融、企業会計にかかわる広範な科目や、企業取引の企業組織など重要性が増すビジネス法務の知識や考え方を学ぶ科目も構成され、学生の学びの関心やめざす将来像にあわせ、基礎から応用までを体系的に学んでいきます。

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

ファイナンス

ビジネス法務

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

ファイナンス

ビジネス法務

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

ファイナンス

ビジネス法務

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

基礎を学ぶ (専門基礎科目)

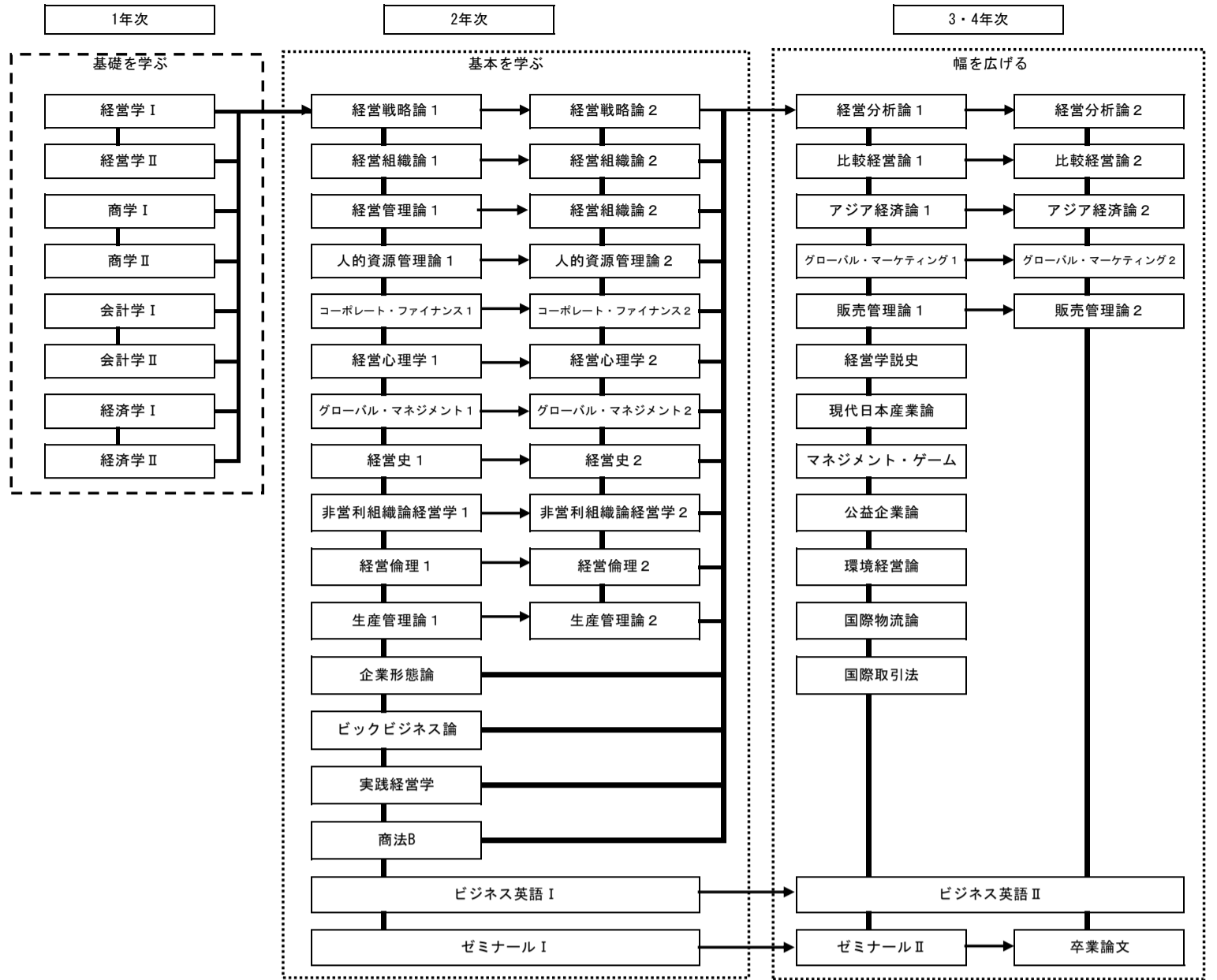
基礎を学ぶ (専門基礎科目)

ファイナンス

ビジネス法務

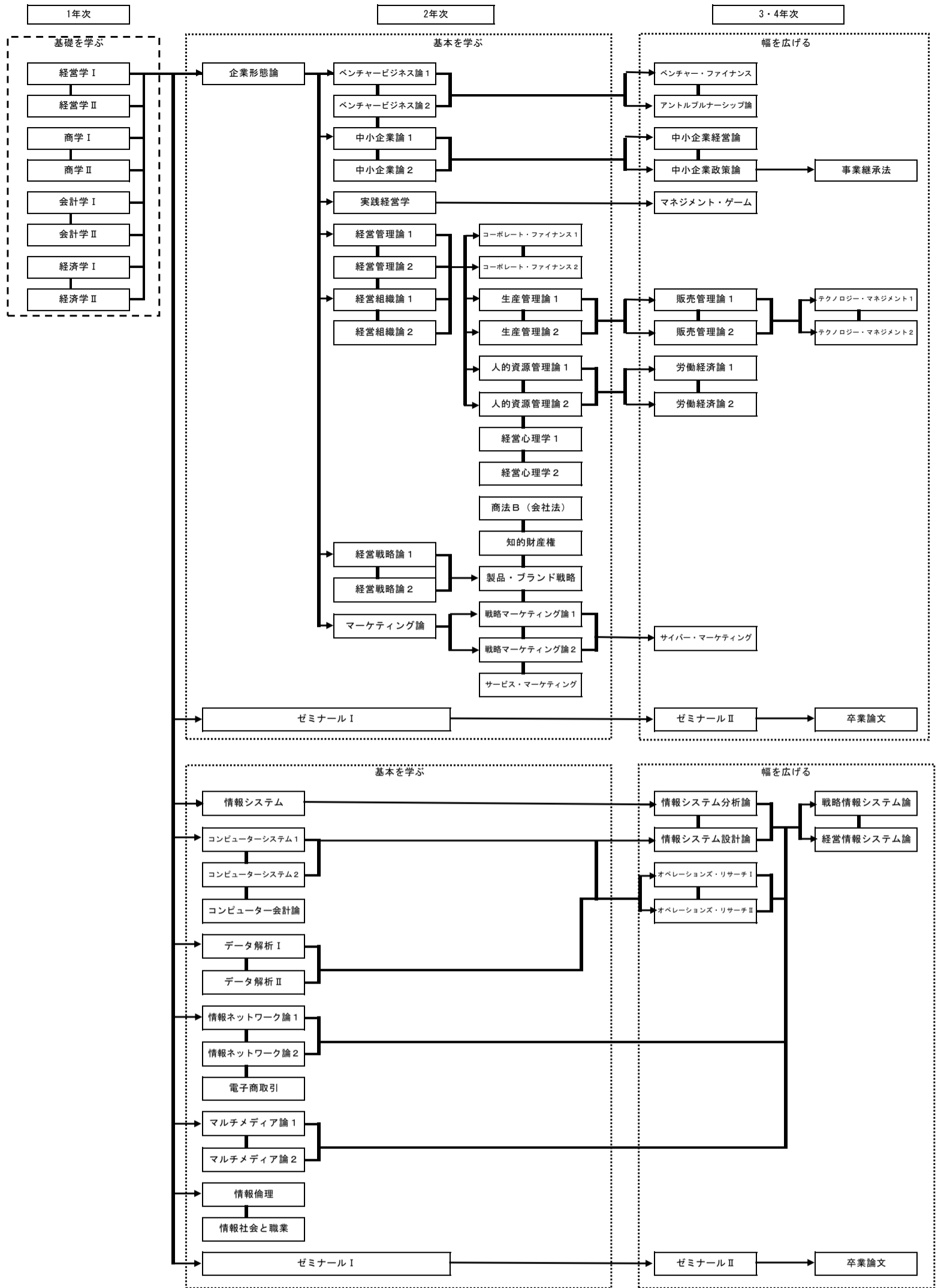
【マネジメントコース】

マネジメント・コースは組織運営に不可欠な高度の組織運営を学び、マネジメント力をもった人材を社会に送り出すコースです。このコースは「ビジネス・マネジメントコース」と「グローバル・マネジメントコース」の2つのサブコースからなり、前者では企業やさまざまな組織の経営・管理に関する知識の体系的な学習を、後者では企業経営のグローバル化という現象を多角的にとらえることを目標としています。

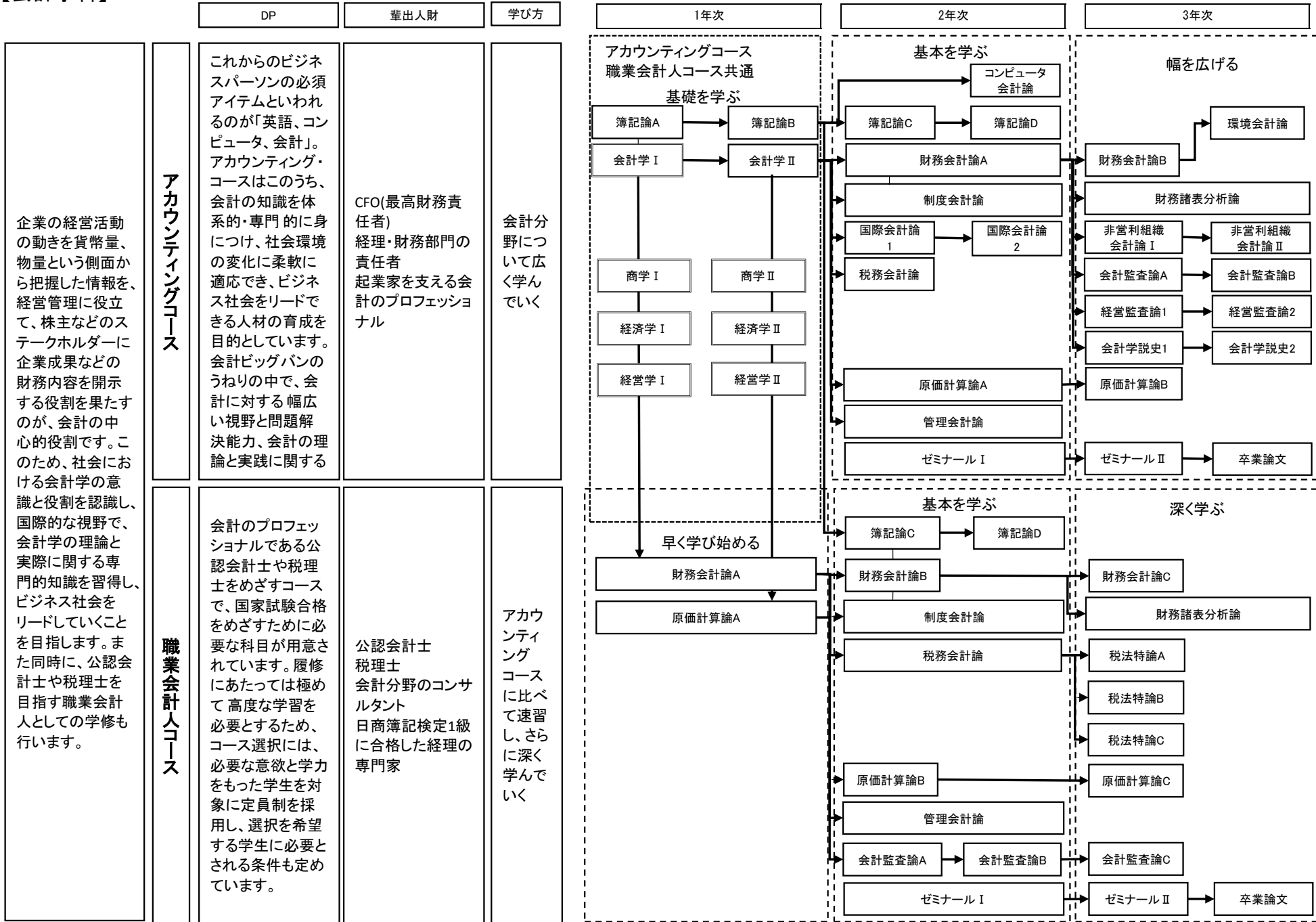


【ベンチャー&経営情報コース】

日本経済再生の鍵といわれるベンチャービジネスやIT（情報技術）を体系的に学ぶコースです。次々に新しいビジネスを創造するこの領域において、ベンチャー企業の基礎事例の観察から、それぞれの関心にそった高度な理論まで体系的に行う「ベンチャーコース」、経営と情報システムの関連の理解を中心に、ITに関する幅広い視野と高度な専門性を獲得する「経営情報コース」の2つのサブコースからなっています。

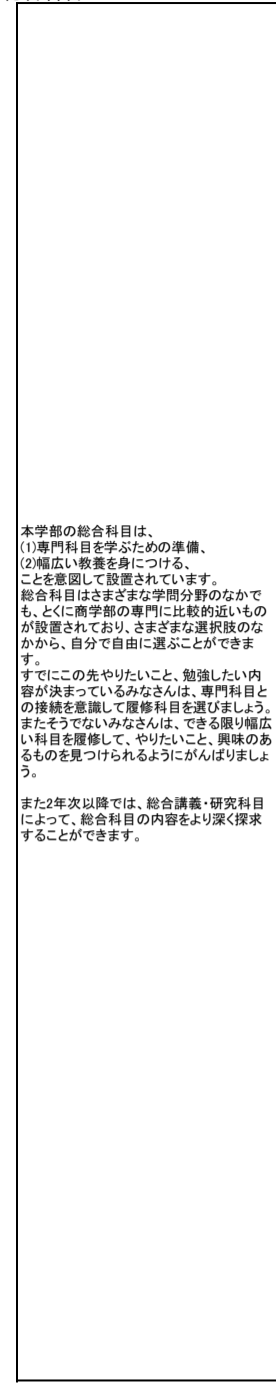


【会計学科】



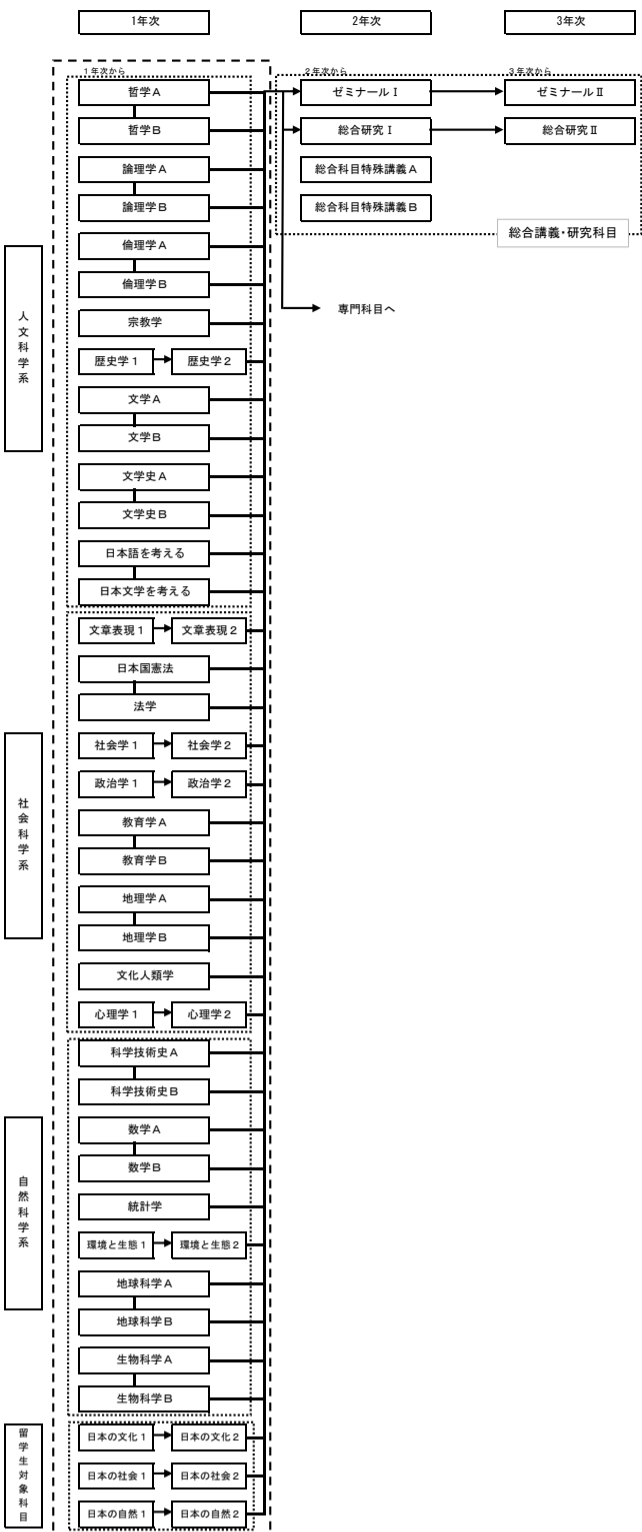
【総合教育科目】

総合科目



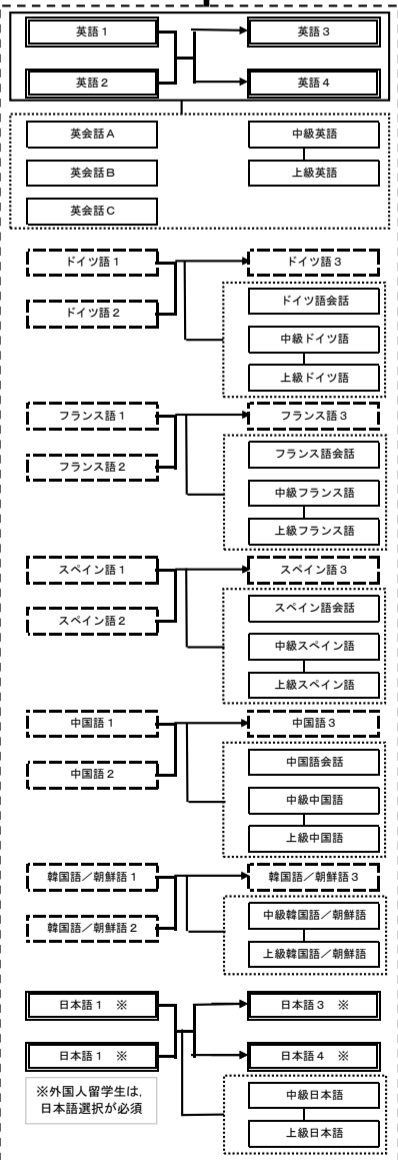
本学部の総合科目は、
 (1)専門科目を学ぶための準備、
 (2)幅広い教養を身につける、
 ことを意図して設置されています。
 総合科目はさまざまな学問分野のなかでも、とくに商学部の専門に比較的近いものが設置されており、さまざまな選択肢のなかから、自分で自由に選ぶことができます。
 すでにこの先やりたいこと、勉強したい内容が決まっているみなさんは、専門科目との接続を意識して履修科目を選びましょう。またそうでないみなさんは、できる限り幅広い科目を履修して、やりたいこと、興味のあるものを見つけてくれるようがんばりましょう。
 また2年次以降では、総合講義・研究科目によって、総合科目の内容をより深く探求することができます。

「日本の文化1・2」「日本の社会1・2」「日本の自然1・2」は外国人留学生対象の選択科目です。



外国語科目

グローバル社会で活躍するための英語のコミュニケーション能力を修得する。必修である「英語1: Grammar&Writing」, 「英語2: Speaking&Listening」, 「英語3: Reading」, 「英語4: TOEIC Preparation」の授業を通して、読む、書く、話す、聴く力をバランスよく身につけ、英語を使いこなす表現力・思考力を身につける。「英会話」, 「中級英語」, 「上級英語」では、英語のレベルアップをはかるとともに、自ら積極的に英語を使った発想力・情報発信力を養う。更に、「総合研究I」, 「総合研究II」では、英語及び英語圏文化の様々なトピックを少人数クラスで学ぶことにより、言語能力をあげ、幅広い応用力を養う。

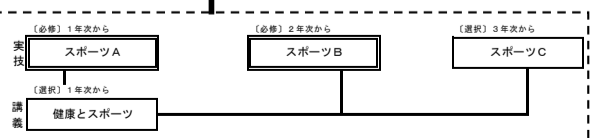


グローバル社会で活躍するための、コミュニケーション能力を修得する。1年次では、文字、発音、基本文法等を学び、基礎力を身につける。2年次では、1年次に修得した基礎力を踏まえ、語彙を増やし、イデオロムを学習することで、自らの考えを各言語で伝達する表現力・思考力を養う。また、各言語の歴史、使用人口、使用地域、特色等を学ぶことで、グローバルな視野・視点をつけ、豊かな発想力をつける。さらに、「会話」, 「中級」, 「上級」の授業では、各言語のレベルアップをはかるとともに、積極的な情報発信力を養う。「総合研究I」, 「総合研究II」では、各言語及び言語文化の様々なトピックを少人数クラスで学ぶことにより、幅広い応用力を得る。

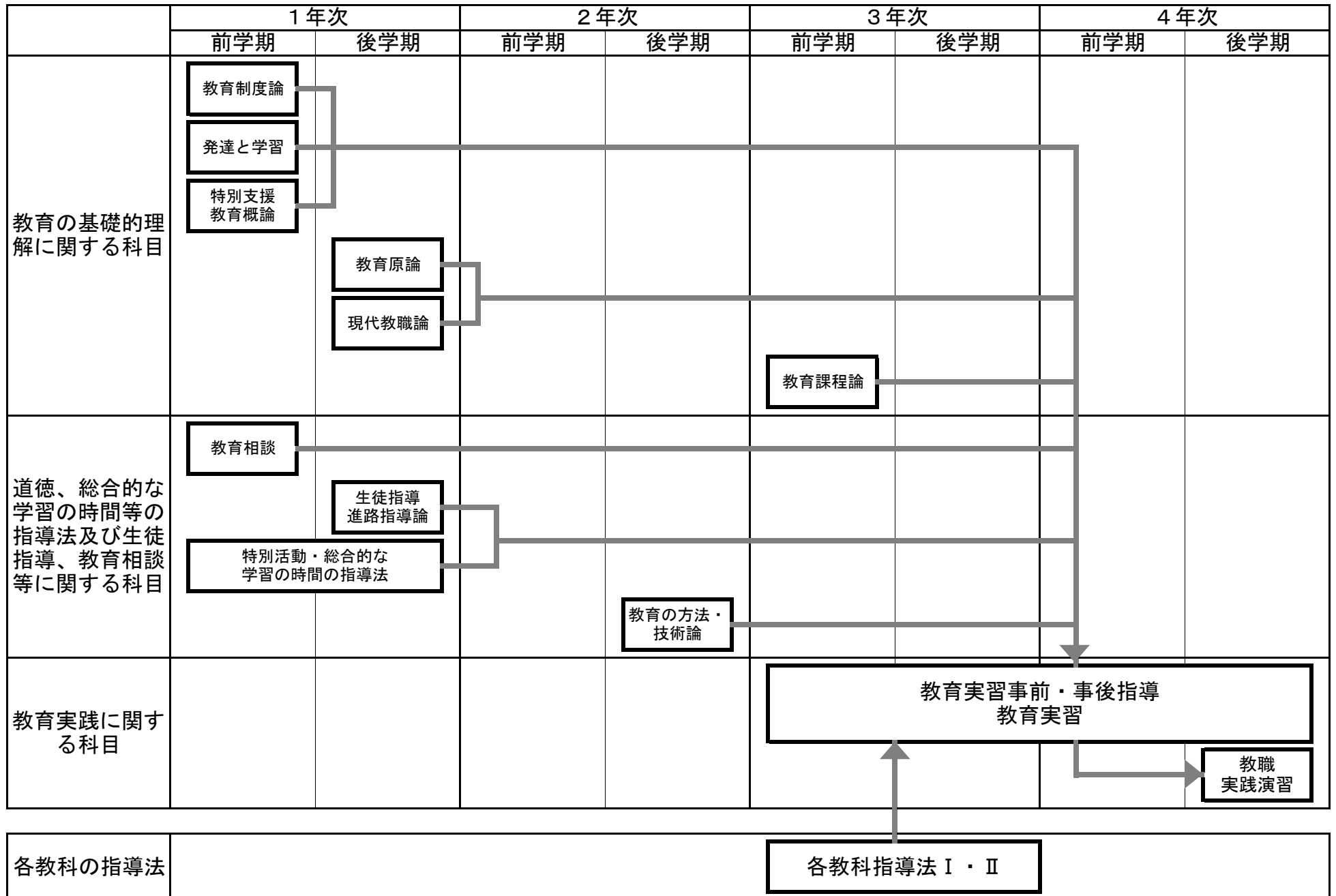
留学生が、日本で不自由なく生活できるハイレベルの日本語能力を身につける。1年次では、基礎力のレベルアップをはかり、2年次では、日本語を自由に使いこなせる力を修得し、読む、書く、話す、聴く力をバランスよく身につけ、表現力・思考力を養う。また、「中級日本語」, 「上級日本語」では、日本語の一層のレベルアップをはかるとともに、積極的な日本語による情報発信力を養う。更に、「総合研究I」, 「総合研究II」では、日本語及び日本の文化に関する知識を深め、応用力を養う。

スポーツ・健康科目

心身共に健康であるための知識の吸収とその実践を主目的とし、人として重要な資質となる「健康・体力づくり」「身体や動きへの気づき」「幅広いコミュニケーション力」を身につけます。



商学部教職課程履修系統図（2019年度入学者）



商学部教職課程履修系統図（2018年度以前入学）

